

4/14
吉原

国保滞納差し押さえ34.9万件

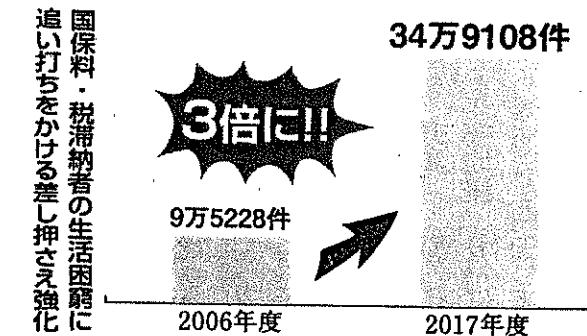
17年度 安倍政権推進 共産党は反対

国民健康保険料・税の滞納世帯への財産差し押さえが、2017年度は34万9千件にのぼったことが13日までに厚生労働省の調べで分かりました。そもそも国保料が高すぎるから支払えないのに、05年に国が自治体を取り立て強化を指示しました。正規雇用の労働者や退職後

て以降、06年度から差し押さえた件数は3倍に激増しています。（グラフ）

国保加入者は、17年度末は高騰し続け、高い市町村では所得の2割を超えていたる28870万人で、非正規雇用の労働者や退職後の高齢者が大半を占めます。加入者の貧困化で一世

國保料・税滞納者の生活困難に追い打ちをかける差し押さえ強化



化・死亡する事例が全国で相次いでいます。

さらに安倍政権は、滞納世帯に対し強権的な差し押さえ強化を推進。国保財政

化・死亡する事例が全国で相次いでいます。これに対して日本共産党

の運営責任を市町村から都道府県に移す「都道府県化」の18年度実施で、国保料アップにつながる公費削減や、取り立て強化を進めた自治体に予算を重点配分する仕組みを導入していくま

す。有効期間が短い「短期保険証」の交付数は75万3千世帯（18年6月現在）。医療費が窓口でいったん10割負担になる「資格証」の交付数は17万1千世帯（同）でした。家計が苦しくて受診を我慢せざるをえず重症